

# 神奈川県 造園業協会報

発行所  
社団法人  
神奈川県造園業協会  
横浜市中区常盤町2-10  
伸光ビル2階〒231-0014  
電話 (045) 662-8793  
662-1767  
FAX (045) 662-4381  
年間購読料 3,150円  
(郵送料を含む)  
ただし会員の購読料は会費に含まれています。



<http://www.kanagawazoen.or.jp>

## 神奈川県立都市公園の

## 今後の展開について

神奈川県立都市公園整備局 環境共生都市部 都市公園課



神奈川県は、これまで、様々な歴史や変化に富んだ自然・景観などを有する県立都市公園を、県土全体での配置や利用も考慮しながら整備を進め、魅力を高めるための管理運営を行ってまいりました。その結果、様々な利用の可能な個性豊かな県立都市公園等として、平成22年度末現在で26公園、約636ヘクタールを開園し、多くの県民の皆さまにご利用いただいております。

め、常に社会経済情勢の変化や多様なニーズへの対応が求められております。そこで、今後の県立都市公園の展開として、都市公園の現状や課題を整理し、公園づくりの基本方針や取り組みの考え方を整理した「神奈川県立都市公園の整備・管理の基本方針」を、県民や関係者の皆さまからのご意見をいただき、平成23年3月に策定したところ

です。

上記の「基本方針」では、公園づくりの4つの視点として、「自然環境の保全と活用」「災害対応とバリアフリー化の推進」「地域活性化への貢献」「効率的で効果的な公園整備とサービス」を

掲げ、概ね10年間に展開すべき10の方向性と24の施策を体系化し、取り組んでいくこととしております。

具体には、「自然環境の保全と活用」として、生態系や生物の多様性に配慮した維持管理を行うとともに、地球環境問題等への対応として太陽光発電施設の導入など環境負荷軽減の推進に取り組んでいくものと

も、誰もが楽しめる公園づくりとして、バリアフ

「災害対応とバリアフリー化の推進」としては、防災力の向上を目指して、市町村や関係機関との連携強化を図りつつ、様々な防災施設の整備を進めるとともに、誰もが楽しめる公園づくりとして、バリアフ

「効率的で効果的な公園整備とサービス」としては、より良いサービスの提供を図ることや、県民・NPOなど多様な主体との連携による公園づくりの推進、公園の再整備や公園施設の長寿命化などに取り組んでい

くものです。

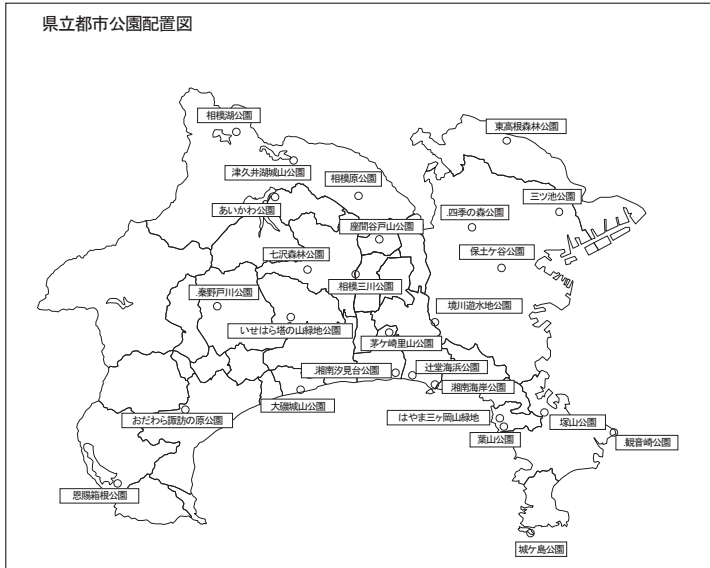
このように様々な面から県立都市公園の今後のあり方を方向付けて取り組んでいく考えですが、そのためには、高い技術力と専門的な技能をお持ちの神奈川県造園業協会の皆様のご協力が是非とも必要でありますので、引き続き、皆様の暖かいご理解とお力添えを賜りますようお願いいたします。

い申し上げます。

「自然環境の保全と活用」として、太陽光発電施設の設置（リバースオクションによる設置を予定している相模三川公園パークセンター）



「神奈川県立都市公園の整備・管理の基本方針」の冊子の表紙



開設している県立都市公園の位置図（配置図）



「自然環境の保全と活用」として、太陽光発電施設の設置（リバースオクションによる設置を予定している相模三川公園パークセンター）



「災害対応とバリアフリー化の推進」として、津波避難タワーの設置（湘南海岸公園への設置予定の写真）和歌山県田辺市の例

等を行い、観光など地域の活性化にも寄与する公園として、地域と一体となった魅力の向上に取り組みんでいくものです。



県民参加の実施状況  
茅ヶ崎里山公園、おだわら諏訪の原公園

### 総会のお知らせ

平成24年5月18日（金）  
17時30分  
「かながわのみどりを創り、育てる」集い

11時00分  
神奈川県造園業  
協同組合総会

13時00分  
（社）日本造園建設業協会  
神奈川県支部総会

15時00分  
（社）神奈川県造園業協会  
総会

会場・ホテル横浜ガーデン  
（横浜スタジアム前）  
横浜市中区山下町二五四  
☎〇四五―六四二―一三二一  
関内駅（JR、地下鉄）  
徒歩五分



「地域活性化への貢献」として、イベントの実施状況（辻堂海浜公園での「辻の盆」など）



# 平成二十四年度神奈川造園人 賀詞交換会開催

神奈川県内の造園・公園・緑地整備に携わる業界人や行政関係者ら約140人が参加し「神奈川造園人賀詞交換会」が一月十日、ホテル横浜ガーデンで開かれた。

冒頭、世話人を代表して岸本造園業協会会長が、「東日本大震災により、防災面や省エネ、緑陰など、緑が果たす機能の重要性があらためて認知されている。厳しい経営環境のなか、造園業界としても皆で知恵や工夫を出し合い、積極的に緑豊かな環境、緑化の推進に参画していきたい」と述べた。



黒岩祐治神奈川県知事挨拶

続いて、黒岩祐治神奈川県知事が、「命が巡る」という考え方を強調した上で循環型社会や緑の大切さを説明し、「環境や農業、教育など、あらゆる問題を幅広く捉える発想が大事」と述べ、県土づくりを担うパートナーとして協力を要請した。



小林昭国土交通省大臣官房審議官挨拶



持田文男神奈川県議会議長挨拶

次いで、小林昭国土交通省大臣官房審議官や持田文男神奈川県議会議長、松田良昭議会みどり議員連盟会長より祝辞が述べられた。



古尾谷光男神奈川県副知事乾杯

そして古尾谷光男神奈川県副知事乾杯後歓談に移り今年一年の期待と近況が語られ和やかに懇親が深まった。



松田良昭神奈川県議会みどり議員連盟会長挨拶



今年出席されなかった会員の方々来年は会場でお会いしましょう。

## シンガポール・クアラルンプール・ペナン 第五回海外研修会に参加して

(株)足柄グリーンサービス 関野 秀則

「神奈川県議会議員松田良昭先生と行く第5回海外研修会」は神奈川県造園業協会、又先生の後援の方々総勢十五名で十一月十三日(日)より十七日(木)まで神奈川県と1991年十月三日に「友好交流の一層の発展に関する」共同声明に署名して以来20年目の節目となるペナン州を表敬訪問するものでした。十一月十六日にペナン州の観光文化大臣がお待ちしておりますとの回答を頂き、行程を再度調整し今回の訪問の運びと成りました。私は

今回3回目の参加となりまして、普段の研修旅行では味わえない貴重な経験が出来ました。第4回目につきましては昨年の会報に掲載されましたので第3回目について少しお話しさせていただきます。

一つ目は2008年四月十六日、神奈川県議会と台北県議会が友好交流協定を締結したときの神奈川県議会議長が松田先生であり、台北議会議長が陳幸進先生であり陳先生は現在も議長との

事でした。陳先生より台北県について説明や議場を案内されました。盛大な昼食会も用意していただき親睦が深まりました。

二つ目は台湾の総統の李登輝先生のお話を聞くことが出来ました。訪問の際ひとりひとり名前を呼んで頂き良くいらっしやいましたと握手していただいたことが今でも心に残っています。李登輝先生は一時間に亘り日本語で講演をして頂き誠に有難かったです。

李登輝先生は日本の植民地時代の台湾で生まれかなり日本及び日本についての教育を受け自身は日本人だとお話されたことが私の心を打つものが有りました。

二日目は午前中車窓より市内観光し午後マレーシア

た。と言うように普段の海外研修では味わい得ない、貴重な体験が出来るということを会員皆様にご報告いたします。

ア・クアラルンプールへ移動し国家記念碑・パトゥ洞窟・ピューター工場などを見学しました。

話がそれましたので今回の研修旅行にもどります。羽田空港を零時三十分前に離陸し一路シンガポールに早朝到着し市内観光を致しました。

三日目は王宮・国立モスク・独立広場・パテックス工房の見学。午後クアラルンプールからペナンへ移動の際アクシデント発生。オーパーキングが生じ出発が3時間遅れペナンには夕方到着となりスケジュールに影響を受けました。四日目最終日です。ペナン政府の案内でペナン植



マーライオン・ラッフルズ卿上陸地点



シンガポールマリーナベイサンズホテル



シンガポールツインタワー



シンガポール国家記念碑





石川副会長観光開発及び文化大臣へ相模の風贈呈



ペナン州ダニー・ローヘンキャロン観光開発及び文化大臣表敬訪問



ペナン植物園



ペナン植物園所長の説明

物園の園長様より植物園について通訳を通し説明を受けました。亜熱帯ならではの植物が日本と違った景色で壮大でありました。中に日本庭園がありました。メソテンナスがなされて無く寂しい気が致しました。次



ペナンジョージタウンの街

は今回の目的でありますペナン州のダニー・ローヘンキャロン観光開発及び文化大臣への表敬訪問です。大臣より神奈川とペナンとのつながり親交の深さ等を説明して頂きビデオ(盆踊り)にても説明して貰えました。

ご丁寧な歓迎挨拶を頂戴し松田先生、鈴木相談役の挨拶に続き石川副会長が相模の大塚のアピール、通訳

かいつ英語にて挨拶され皆一同拍手喝采でした。

それからビルの65階より世界遺産の町ジョージタウンを見学し昼食会に招待されました。そして市内観光しペナンからシンガポールを経由して帰国の運びとなりました。

今回5回の飛行機による移動の為大変忙しい旅行となりましたが近代国家・多国籍文化が感じられるシンガポール・マレーシアの研究でした。

松田先生の国際的な情報網に驚いております。

末筆ながらこの研修会を企画して下さった西田様ありがとうございます。そして鈴木相談役・奥様いつもお使い本当にありがとうございました。



馬堀海岸高潮対策護岸と緑陰道路

横須賀市においては、横須賀市景観条例に基づき、横須賀の景観づくりの推進に寄与している建築物や工作物、または活動を一般から公募し、景観デザイン部門及び景観づくり活動部門を対象に「国際海の手文化都市よこすか景観賞」として表彰し、景観づくりへの市民参加、景観資源の発掘や横須賀らしい景観の保全を行っております。

この度、当協会会員の田野井造園(株)が平成十七年に施工した馬堀海岸植栽工事(カナリーヤシの並木)が馬堀海岸高潮対策護岸(日工建設(株)施工)と緑陰道路として景観デザイン部門の

受賞景観として平成二十四年二月五日に表彰されました。我が市を代表する好景観道路である。巨大な割石を充填したダイナミックな石積護岸と楽しんでゆとりある歩行空間、そして海岸線を想像させるシンボリックなカナリーヤシの並木。防潮機能を最優先にしつつ、市民に海辺を開放するために高い親水性を実現している点等、横須賀を象徴する優れた道路空間として十分な素質を有していると考えます。

第4回 「国際海の手文化都市よこすか景観賞」 田野井造園(株) 表彰される

◎委員の講評 市の中心街から横浜方面の都市景観を一望出来る、

◎推薦理由 高瀬護岸により周辺の安全に貢献するとともに海に親しめる美しい護岸となっており、隣接する緑陰道路とともに海の手文化都市に相応しい景観となっております。

1万メートルプロムナードの一部として東京湾の風景を存分に楽しめる好スポットでもあります。

◎委員の講評 市の中心街から横浜方面の都市景観を一望出来る、

◎推薦理由 高瀬護岸により周辺の安全に貢献するとともに海に親しめる美しい護岸となっており、隣接する緑陰道路とともに海の手文化都市に相応しい景観となっております。

1万メートルプロムナードの一部として東京湾の風景を存分に楽しめる好スポットでもあります。



工期 平成十七年 三月二五日  
〜平成十七年 十月二〇日

発注者 国土交通省 関東地方建設局 横浜国道事務所

設計者 (財)道路環境研究所

施工者 田野井造園(株) 日工建設(株) 西武造園(株)



# 「南三陸町における東日本大震災の被害

## 及び復興状況等の現地視察」

公園緑地部会技術研修委員長 岡部 一郎

小山副会長、石川副会長  
また公園緑地部会を中心としたメンバー10名、一月十七日(火) 十八日(水)の二日間の日程で行くものでした。

今回の視察の主な目的は、旧歌津町(志津川町と合併し南三陸町)の最後の町長である牧野駿氏を訪ね、二月十六日に開催された講演会の講師の依頼と打ち合わせをする事。また被災地の現状を自身の目で確認する事でした。

福島県に入った頃から折バスが上下に揺れ、震災の影響はまだまだ残っていることを改めて実感しました。

仙台南ICで東北自動車道から仙台南部有料道路、仙台東部有料道路、仙台松島道路、さらには三陸自動車道を抜け北上して行く、道路や建物の修復作業が目立つようになってきました。桃生津山から国道45号(東浜街道)で海岸線の南三陸町へ向け東に進路をとります。

ろう針葉樹が立ち枯れしている光景が目に入ってきました。海岸までまだ数kmはある場所です。こんなところまで津波が来ているのか皆がそう感じていたと思います。その先はさらに凄まじい光景が広がっていました。

基礎だけ残った町並みがれきや車の山、辛うじて残ったビルの屋上に車が載っておるような状況です。海岸沿いの一本道を進むとリアス式海岸の特徴からカーブとアップダウンが繰り返されます。その度にほんの僅かな高低差で津波



陸中海岸気仙沼湾の震災で残った緑起の龍

いし支援物資などを手渡すことが出来ました。2時間ほど食事をしながらお話を聞くことが出来ました。今被災地の大きな問題は、雇用を確保できないことだそう

の被害を受けなかった幸運と無常さを痛切に感じました。私たちが宿泊した「ホテル海洋」は、南三陸町で唯一残った宿泊施設で復興作業に携わる方々も大勢宿泊されています。このホテルも1階と2階部分は津波の被害を受けたそうです。その夜、牧野さんとお会

です。とりわけ南三陸町では鉄道が不通の為、通常なら働き先となる気仙沼や右巻へも通勤するのが難しい状況なのです。そのため住民アンケートの結果では約2割の世帯が町には戻らないと回答しているそうです。同様の問題は被災地全体にあるのではないのでしょうか。

翌朝、牧野さんと歌津駅近くで待ち合わせし、付近の状況説明を受けました。海岸沿いを高架で通っていた歌津バイパスは再建されることが決まったそうです。鉄道も再建の目処が立っておらず、鉄道では費用がかかりすぎるので専用道を整備し、バスを運行する案も検討されているとのことでした。

その後、地元産の海産物などをお土産として購入して南三陸町を後にし、陸前高田市へむかいました。高田松原公園は津波の被害を受けて唯一残った一本松で有名になった場所です。残念ながらこの松も保存することは難しいようですが、クローンをつくる計画があるようです。

陸前高田は平地が広がっている分、南三陸町よりもさらに被害が大きいように感じました。まさに見渡す限りの荒野でした。

東日本大震災発生からもうすぐ一年が過ぎようとしています。これまでは片付けが精一杯、本当の復興はまだまだこれからだと感じました。私たちが被災地や被災された方々のことを忘

れず継続的に支援していくことが大切だと思います。全行程1200kmを2日間で行く強行日程を安全運転で運んで下さった中山様、お疲れ様でした。ありがとうございました。



南三陸町歌津役場跡付近



南三陸町歌津の道路損壊



陸前高田の瓦礫の山



陸前高田市の奇跡の一本松



南三陸鉄道歌津駅の惨状



# 「神奈川のみどりを創り、育てる講演会・集い」開催

二月十六日、ホテル横浜ガーデンに於いて「かながわのみどりを創り、育てる」講演会・集いを、神奈川県造園業協会、主催（社）神奈川造園業協会、共催（社）日本造園建設業協会神奈川支部、（財）日本造園修景協会神奈川支部協賛により開催したところ、古尾谷神奈川副知事、高村県土整備・石黒環境農政両局長、持田神奈川県議会議員連盟会長、同議員、神奈川県・横浜市等行政の方々、（公財）神奈川県公園協会等関係団体や会員を含め百五十七名が参加。



栗原神奈川県環境共生都市部参事挨拶

菅野公園緑地部会部会長の開会あいさつに始まり、神奈川県土整備局栗原正夫環境共生都市部参事より「神奈川に於いても東海地震や神奈川西部地震等の切迫性が指摘されており大規模災害への備えは喫緊の課題です。このため学識者等で構成する津波浸水想定検討部会が設置され、新たな津波浸水予測図の素案を昨年十一月に示すなど、地域防災計画の見直しに向けて検討が進められております。本県は緑地面積が減少傾向にあるため神奈川のみどりを創り育てておられる皆様の御尽力のもと、都市公園の整備や近郊緑地の保全等進められてまいりました。

このようにして形成されました公園、緑地は環境保全、健康の増進、観光振興、歴史文化の継承などの様々な機能を持ちますが、災害発生時には、特に避難地や救援活動拠点、復旧に必要なオープンスペースとしても活用されます。このため公園整備と緑地保全を計画的に推進し、地域住民の防災活動や、企業 NPO、関係機関による防災の取り組みに貢献し、災害に強く、活力のある街づくりの実

現を図ることが今後一層重要になってまいりますので、皆様方には引き続きご理解お力添えを賜りますようお願い申し上げます。」との挨拶が述べられました。



宮城県前歌津町町長牧野講師

講演の趣旨は、次の通りで大変示唆に富んだ有意義なお話でした。映像を見て頂きましたが高さ二十メートル以上の津波が襲いかかり町がなくなり海になるとは誰も想像できませんでした。

人口約一万七千人ありましたが、この度の震災で約二千人の方が移住しました。この大きな要因は、雇用の場がないこと、南三陸鉄道が壊滅的被害を受け交通アクセスがなくなり子供が学校に通うことが出来ないことです。

逃げなさいという「てんでこ」ということがデリケートな問題ですが大分いわれました。今回の被災地救援で仮設住宅に非難した方と仮設に入らなかつた方と同じ被災を受けたが不公平感がありました。行政としても考えるべきではないでしょうか。



松田神奈川県議会みどり議員連盟会長挨拶

程度しか評価されないという現実があり人口流出は止めようがありません。今回の震災で何とか助け合いとかが言われておりますが、人を助けようとしてなくなつた方が多くおりまして人にかまわず

亡くなりました。国では東日本大震災復興構想会議の議長代理で建築家の安藤忠雄さんらの発案で「鎮魂の森」が気仙沼市の「安波山」で計画されています。「鎮魂の森」は、南三陸町をはじめ六箇所で計画されており、私の所有する山を提供する計画ですので造園の方にもご支援を頂ければ幸いです。



持田神奈川県議会議長挨拶



(株)インターリスク総研主任コンサルタント 橋田講師

話をしましたが時間がまいましたので終ります。本日はお招き頂き有難うございました。牧野前歌津町町長講演修了後に小山副会長より義援金が贈呈されました。続いて、「東日本大震災を踏まえた事業継続計画（BCP）の作成」と題して、（株）インターリスク総研主任コンサルタント橋田生基氏より①東日本大震災の被害データ②震度六弱以上の地震が発生した場合の神奈川県における地震被害想定③事前災害防止対策や限られた経営資源の中での事業継続のあり方を整理・検証して優先的に整備すべき地



牧野宮城県前歌津町町長へ義援金贈呈

岸本会長の主催者挨拶に続き、神奈川県を代表して神奈川副知事古尾谷光男様、神奈川県議会を代表して神奈川県議会議長持田文男様の挨拶に続き神奈川のみどり議員連盟議員の紹介の後、代表して神奈川県議会議長池守典行様



古尾谷神奈川副知事挨拶

## 第二部 「かながわのみどりを創り、育てる集い」では、

の乾杯の発声で講師を交えて親睦交流を深める和やかな集いとなりました。

松田神奈川県議会みどり議員連盟会長挨拶



# 支部だより

## 湘南西支部研修会

支部長

木村 義広

当支部ではかねてよりの計画であった街路樹剪定講習会（街路樹剪定士向上のための実践研修会）を二十三年十一月二十五日、県道711号線のカツラを対象に、街路樹剪定士指導員の富田改氏を講師に招き、松田土木事務所の協力を得て実施した。午後一時三十分より開始し、参加者は30名。

まず富田講師による街路樹剪定の基本的な考え方、「なぜ剪定を必要とするか」「樹形を維持するための剪定方法」「限定空間における小枝の役割」「三つの剪定手法」「科学的剪定法」などについて解説があり、安全面の確認が行われた後、一人2本の木を教材として、剪定の実習を行った。

剪定にあたっては、多くの人が当年枝中心の間引き剪定に偏り、中心部の枝が多く残る傾向にあったため、富田講師から一人一人に、太い枝、強い枝を内部から間引くよう指し棒を使っての指示が行われた。樹木は下から見る枝の感覚と木に登ってみる感覚が違う為、木に登った上での適切な剪

定位置の判断は一朝一夕ではいかないようである。

一本目の剪定を終えた後、富田講師から再度注意点を指導を受けて2本目の剪定に臨んだ。実践と再確認の説明があったため、2本目の剪定は剪定箇所を理解も深まり、仕上がりが美しく、早く終える人も多かった。最後に一本ずつ富田講師より剪定後の評価があり、日暮れ前に講習会を無事終えることができた。場所を提供してくれた松田土木事務所と遅くまで熱弁をふるって指導にあたっていただいた富田講師に感謝申し上げます。



富田講師による枝の間引き剪定の説明



個別指導も行われた



幹の腐朽状態の説明

### サクラ樹勢回復作業 研修会報告書 湘南中央支部長 蛭田 榮一

2011年十二月十日に湘南中央支部では、作業者の技術向上を図り、樹木医の富田改氏を講師として研修会を行いました。

研修の内容は、藤沢保育園のシンボルツリーであるサクラの樹勢回復作業。7〜8年前の造成工事時に、サクラの根元まで盛り土がされ40cm程の深植えとなっていました。それが原因でサクラは徐々に衰退が進行し、現在では腐朽菌の発生、幹の空洞化、樹皮欠損、新梢の不生育などの状態が見られる程になっていました。

本研修では、樹木の生理に基づいた考察を樹木医が行った上で、枯れ枝・古い枝・芽の詰まりが見える枝の剪定、絡んだ上根や枯れた上根の撤去、上根周りの土壌改良、盛り土の撤去（元の高さまで戻す）作業を実施しました。

日々の業務で行っている作業でも、樹木医の深遠な考察を通すことで、参加者にとっては作業ひとつに意味を持ち新鮮に感じたことと思われまふ。この様な経験を今後の現場でも活かしていけることに期待します。

樹勢回復作業が終わったサクラは、思いなか元氣にも見え、今後は経過観察をしながら2013年の芽吹きを待ちます。



作業完了後



上根の整理事業



### ●会員名簿の変更● (平成23年度名簿)

#### 住所変更

○緑支部  
唐戸園 (会員名簿P.30)  
〒224-0066 横浜市都筑区見花山4-41  
TEL・FAX 045-508-9720

#### 代表者変更

○神奈川支部  
佐藤造園 (会員名簿P.35)  
代表者 佐藤幸一 → 竹林孝明

#### FAX番号変更

○横浜中央支部  
アライランドスケーピング (会員名簿P.47)  
FAX 045-624-0984

○横浜中央支部  
株草のよしだや (会員名簿P.47)  
FAX 045-390-0013

○横浜港南支部  
織茂造園 (会員名簿P.49)  
FAX 045-843-8329

### 事務局情報

(月間行事一覧)  
●諸会議その他●

2/2 (木)	公園緑地部会正副部会長会
2/4 (土)	造園技能士コース (第14回)
2/6 (月)	公園緑地部会
2/11 (土)	造園技能士コース (第15回) 県域青年部会相互交流視察研修会 (鎌倉)
2/16 (木)	「かながわのみどりを創り、育てる」講演会・集い (ホテル横浜ガーデン)
2/18 (土)	造園技能士コース修了試験
2/19 (日)	川合玉堂別邸流れ復元・改修講習会
2/21 (火)	協同組合理事会
2/26 (日)	川合玉堂別邸流れ復元・改修講習会
3/1 (木)	情報委員会 校庭芝生化意見交換会
3/2 (金)	庭園部会 造園技能検定指導員・検定員会議
3/3 (土)	造園技能士コース修了式
3/5 (月)	教育研修委員会
3/7 (水)	樹木・資材委員会
3/11 (日)	作庭塾「庭守」
3/13 (火)	総務・厚生委員会
3/17 (土)	庭園部会美術館・庭園めぐり研修会 (鎌倉)
3/21 (水)	支部長会
3/28 (水)	理事会

青年部の川崎満氏の司会進行で、支部長の金子篤司氏の挨拶。石田誠氏の発声で乾杯。竜の鼓会メンバー7人により新年のスタートにふさわしく、明るくにぎやかに太鼓が演奏された。支部員やそのご家族も、和やかな雰囲気の中で歓談し、料理を味わった。



獅子舞



渡邊副会長挨拶

宴も半ば、獅子舞とひよつこの手踊り、支部員のご家族も飛び入りで太鼓を演奏し、金子支部長も太鼓演奏を披露した。福引で今年の運試しなどで盛り上がった。

渡邊宣昭副会長の挨拶、栗飯原吉伸副支部長による中締め、業界と支部の発展を祈念して三本締めでお開きとなった。



金子支部長太鼓演奏

### 病害虫防除 講習会を開催

協会と神奈川県農業技術センター病害虫防除部・神奈川県植木連合会と共催で平成二十三年度第二回病害虫防除関係者講習会が一月二十七日「神奈川県農業技術センター多目的ホール」において実施され総勢六十五名(造園業関係十五名・その他行政・団体五十名)が参加し、二時間半に亘り行われました。



病害虫防除講習会

講習会は、「農薬の適正使用と安全管理」について農業技術センター病害虫防除部伊與部有一氏より、「住宅地における公園・街路樹等の防除技術」について(株)緑の安全推進協会弓削進氏より事例を示しながら講義されました。

この講習会は、農薬散布

時の人に対する健康や周辺住民・環境への安全性確保の大切さについて発注側の行政と受注する造園関係事業所が共通認識を共有し、円滑な病害虫防除を図ることを目的とした重要な講習会で、講習会終了後出席者には、「修了証」が手渡されました。

なお、当日発行された「修了証」は再発行されませんので大切に保管して下さい。



チャペル / ルーム  
ヴァンセーヌ / 上海酒家



客室数50室/大小宴会場10  
中国料理 上海酒家  
レストラン ヴァンセーヌ  
ティーラウンジ

### ホテル横浜ガーデン

〒231-0023 横浜市中区山下町254番地  
TEL 045-641-1311

湘南ホテルマネジメント株式会社  
グランドホテル湘南



# 作庭塾庭守講習会 「二松庵」流れ発掘・復元講習会

横浜マイスター 大胡 周二郎

今年も旧川合玉堂別邸「二松庵」を会場にお借りして、二月十九日(日)と二十六日(日)の二日間、流れの復元をする講習会を行いました。

今回は昨年行った、「池泉護岸石積み講習会」の続きの、池から竹林に至るまでの部分を復元することとしました。

現状は、ここ数年手が入らず、セキシヨウに被われ、緑石も土砂に埋まりかけて

いましたが、それらを掘り上げ、流れの模様を確認しつつ作業を進めました。中央付近にある湧水の井戸から上流には、新たに土留の縁石を場所に定めて付けました。下流は主に発掘を行い、崩れ落ちた部分の流れの縁を補うこととしました。井戸の周辺からは、埋まつていた前石・沢飛石や景石も掘り出され、昔の景観が現れました。

これは大いに勉強になった」との記述もあり、丸太橋を架けることにしました。

しかしながら、開園日には多くの人が来園するため黒木では難しく、最大妥協して栗のなぐりを用地表面

を歩きやすく、チョウナでなぐり平らめて使用しました。また、同様に栗丸太の手摺りを脇に取り付け、足を踏み外さないように考えました。橋の下の五色の水

音は、湧水が微量になった現在、昔のようには成りませんが、見た目の形だけではないかと思っています。

作業の中では、石を運ぶ際の肩で担ぐ二天張り・四天張り、台車での運び方、石を据える際のチェーンブ

きことは沢山あり、繰り返し研鑽を重ねていただきたいと考えます。特に最後の地均しは、石や植栽のチリ際は、なお念を入れて舐めたように仕上げると出来栄が数段上がるものです。

の皆様、関係者の皆様、誠に有難うございました。今回も横浜市教育委員会、文化財課、並びに金沢区区政推進課の御厚意により、会場を使わせて頂きましたことに感謝申し上げます。

造園技能士コースを終わって

昨年十月からスタートして毎週土曜日十五日間の102時間をかけた講習会は、職業能力開発促進法に基づき、「より高度の技術を修得」し「その職業に必要な技能を補完」することを目的とされています。

## 受講生の声

1級受講生 野村直樹

1級受講生 原田俊二

還暦を迎えた私共が、造園技能士に挑戦すると周囲に話した所、何で今さらという反応が多く返ってきました。かねてより、支部の会などで聞いたことがない専門用語を耳にすることが多く、施工管理と技能士のの違いは何なのかという疑問がありましたので、一念発起講習に参加させていただきました。受講を通して教えていただいた知識を日常の業務に生かしつつ、若い技術者にアドバイスが出来るかと思っています。

2級受講生 林 兼由

昨年10月から2月まで、長いようで短い感じが致しました。私は脱サラして、観葉植物レンタルの仕事をしていましたが、時々外木の揃手の仕方について聞かれる事が有りますが、わからずに困った事が有りました。が、今回の研修で講師の先

望みます。諸先生方、事務局の方々の絶大なご指導、誠にありがとうございました。

2級受講生 戸羽拓也

とても勉強になりました。合格したことで自信がつかまりました。もっと造園のことを勉強して行きたいと思っています。ありがとうございます。

2級受講生 栗山昌大

この四ヶ月間の講習会を通して、それぞれの先生方の豊富な知識や実際の経験を分かり易くそして楽しく講義していただき、あらためて造園という仕事の奥深さ、素晴らしさを気付かせていただいた事に感謝しております。

2級受講生 原慎一

まず感謝したいことは、講義内容がただ教科書を朗読するだけの勉強会ではなかったことです。造園を生業とする専門家を媒介することによって、教科書に掲載された無味乾燥な言葉が、生きた言葉へ変わり、知識に対する理解力をより一層深めることができました。それに伴い、今回の講義で得た知識を、体系づける為に私自身が常に「実践者」であるという、立場を保持していく必要性を感じました。最後に、講義内の余談話ではありましたが、ある講師の方の石の輪廻と自身の死生観の話聞いて、造園でもここまでぶつ飛べるのかと思ひ、感激感動興奮で、体温が上昇したことを、鮮明に覚えております。各講師の先生方、事務局の方々、誠にありがとうございました。



井戸周辺の流れ



流れ護岸作業



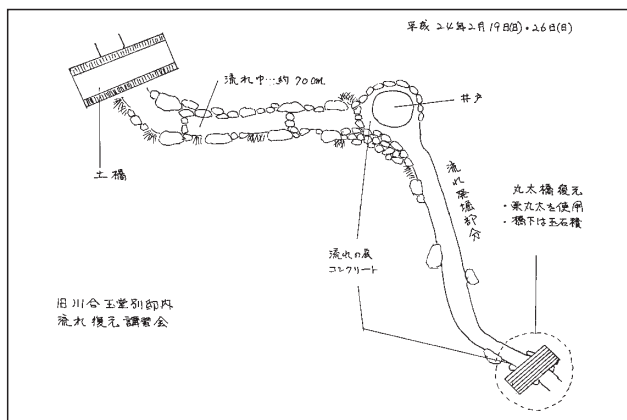
丸太橋完成



丸太橋削り作業



土橋苔復元



講師の諸先生方には貴重な体験を交えた熱い講義でございました。当講習会の意義が多くの方々に理解され、発展継続することを



大野彰共同訓練委員会副委員長より神奈川県職業能力開発協会会長賞授与



修了式記念写真